

(15) だいこん

ア 各病害虫の防除

萎黄病

亀裂褐変症

白さび病(わか症)

根くびれ病

べと病

黒腐病

黒斑細菌病

軟腐病

モザイク病

アオムシ

ヨトウムシ

アブラムシ類

キスジノミハムシ

コナガ

ハスモンヨトウ

ダイコンシンクイ(ハイマダラノメイガ)

ネキリムシ類

センチュウ類

ナメクジ、カタツムリ類

ナモグリバエ

ア 各病害虫の防除

【留意事項】

(□は総合防除計画に掲載している病害虫)

萎黄病

(耕種的・物理的防除)

- 1 発病ほ場では連作をしない。
 - 2 抵抗性品種を作付ける。
 - 3 秋まきでは、なるべくは種時期を遅らせる。
 - 3 被害株は畑から持ち出し、土中深くに埋め込む。
- ※こまつな、かぶ、チンゲンサイ等でも発生する。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 薬剤で土壤消毒する([共通防除の章の資材・苗床・本ぼの消毒の項](#)を参照)。

亀裂褐変症

(耕種的・物理的防除)

- 1 連作を避ける。
 - 2 排水を良くする。
- ※根腐病菌、根くびれ病菌、その他の菌の単独又は重複感染により、根部に横縞症状、黒変亀裂症状、円形褐変症状等の病徴を示す。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 リゾクトニア菌による場合は、は種前に、薬剤を全面土壤混和する。

白さび病(わか症)

(判断、防除に関する措置)

- 1 春期多雨で多発生する。遊走子が気孔侵入する。

(耕種的・物理的防除)

- 1 発病しやすい畑ではあぶらな科作物の連作を避ける。
- 2 被害茎葉は除去する。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 は種前に、薬剤剤を全面土壤混和する。
- 2 薬剤を散布する。

根くびれ病

(耕種的・物理的防除)

- 1 連作を避ける。
 - 2 排水を良くする。
- ※夏みの早生3号は耐病性。

べと病

(耕種的・物理的防除)

- 1 肥料切れしないようにする。
- ※9月上旬ころ降雨により多く発病する。

黒腐病

(耕種的・物理的防除)

- 1 発病ほ場へのあぶらな科作物の連作を避ける。
- ※子葉頭部、葉縁等の水孔から侵入する。17℃以下ではほとんど発病しない。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 薬剤を散布する。

黒斑細菌病

(耕種的・物理的防除)

- 1 肥料切れしないようにする。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 発病初期から7～10日おきに薬剤を散布する。

軟腐病

(耕種的・物理的防除)

- 1 3～4年間イネ科、まめ科の作物を作付ける。
 - 2 降雨直後に農作業をしない。
 - 3 病株は見つけ次第取り除く。
- ※早播きのものに多い。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 微生物殺菌剤は予防的に散布する。
- ※微生物殺菌剤の施用と薬剤散布(殺菌剤を含む)とを併用する場合は、[農薬安全使用に関する参考資料の章の「天敵等への化学農薬の影響の目安」](#)を参照し、影響の少ない農薬を選択する。
- 2 発病が予想されるときは薬剤のいずれかを7～10日おきに散布する。
 - 3 根や地際を害する害虫(キスジノミハムシ、ナメクジ、線虫など)を防除しておく。

モザイク病

(耕種的・物理的防除)

- 1 シルバーポリマルチ(例：ムシコン、シルバーポリトウ)をする。
- ※生育初期に感染した株ほど、症状が重症化する傾向がある。

(薬剤防除)

- 1 発芽初期から、飛来する有翅アブラムシを防除剤により防除する。本項の[アブラムシ類の防除](#)を参照。

アオムシ

(予防に関する措置)

- 1 育苗床を防虫ネット等により被覆する。
- 2 ヘアリーベッチ、大麦等を使用したリビングマルチの活用により、密度抑制を図る。
- 3 ほ場周辺の雑草(特にあぶらな科雑草)の防除に努める。

(判断、防除に関する措置)

- 1 発生予察情報、ほ場の見回り等に基づき、若齢幼虫時に薬剤散布等を実施する。
- 2 作物残さを適切に処分する。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#) [【アオムシ】](#)

- 1 発生が予想される場合には、薬剤を散布する。

ヨトウムシ

(予防に関する措置)

- 1 防虫ネット等の使用により、成虫の飛来及び産卵を防ぐ。
- 2 ほ場内及びその周辺の雑草の防除に努める。
- 3 施設栽培では、成虫の侵入防止対策として、換気窓等の施設開口部への防虫ネットによる被覆や防蛾(が)灯(黄色灯)の夜間点灯を行う。
- 4 交信かく乱剤を使用する。
- 5 施設栽培においては、栽培終了後に蒸込み処理を行う。

(判断、防除に関する措置)

- 1 卵塊や若齢幼虫が群生している葉を見つけ次第、除去する。
- 2 発生予察情報を参考に、ほ場の見回り等による早期発見に努め、発生初期に薬剤散布等を実施する。
- 3 作物残さを適切に処分する。

(薬剤防除) [農薬登録情報【ヨトウムシ】](#)

- 1 発生が予想される場合には、薬剤を散布する。

アブラムシ類

(予防に関する措置)

- 1 ほ場内及びその周辺の雑草の防除に努める。
- 2 有翅虫の飛来を防止するため、光反射資材によるマルチ若しくはシルバーテープ又は風上方向に防風垣若しくは防風ネットを設置する。

(判断、防除に関する措置)

- 1 発生予察情報を参考に、ほ場の見回り等による早期発見に努め、発生初期に薬剤散布等を実施する。
- 2 農薬を使用する場合には、同一系統の薬剤の連続使用を避け、異なる系統の薬剤によるローテーション散布を行う。さらに、地域内で薬剤抵抗性等が確認されている薬剤の使用判断については指導機関の指示に従う。

・モザイク病防除を目的とする場合は本項の[モザイク病防除の項](#)も参考にする。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 気門封鎖剤を散布する。
- 2 発生が予想される場合には、薬剤を散布する。

キスジノミハムシ

(判断、防除に関する措置)

- 1 6月以降夏期に多く加害する。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 発芽後、初期から薬剤を7～10日おきに散布する。

コナガ

予防に関する措置)

- 1 防虫ネット等の使用により、成虫の飛来及び産卵を防ぐ。
- 2 ほ場内及びその周辺の雑草の防除に努める。
- 3 交信かく乱剤を活用した防除を行う。

(判断、防除に関する措置)

- 1 卵や若齢幼虫が寄生している葉を見つけ次第、除去する。
- 2 発生予察情報を参考に、ほ場の見回り等による早期発見に努め、発生初期に薬剤散布等を実施する。
- 3 作物残さを適切に処分する。
- 4 生物農薬を活用した防除を行う。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 生物農薬は予防的に散布する。
- 2 農薬を使用する場合には、同一系統の薬剤の連続使用を避け、異なる系統の薬剤によるローテーション散布を行う。さらに、地域内で薬剤抵抗性等が確認されている薬剤の使用判断については指導機関の指示に従う。

ハスモンヨトウ

・[共通防除の章のハスモンヨトウの防除の項](#)を参照する。

(予防に関する措置)

- 1 防虫ネット等の使用により、成虫の飛来及び産卵を防ぐ。
- 2 ほ場内及びその周辺の雑草の防除に努める。
- 3 交信かく乱剤を活用した防除を行う。

(判断、防除に関する措置)

- 1 中齢幼虫以降になると薬剤の防除効果が著しく低下してしまうため、卵塊や若齢幼虫が群生している葉を見つけ次第、除去する。
- 2 発生予察情報を参考に、ほ場の見回り等による早期発見に努め、発生初期に薬剤散布等を実施する。
- 3 農薬を使用する場合には、同一系統の薬剤の連続使用を避け、異なる系統の薬剤によるローテーション散布を行う。さらに、地域内で薬剤抵抗性等が確認されている薬剤の使用判断については指導機関の指示に従う。
- 4 生物農薬を活用した防除を行う。
- 5 作物残さを適切に処分する。
- 6 常発地ではフェロモントラップを設置するなどして発生消長を確認しながら幼虫の防除を行う。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 若齢幼虫のうちに、薬剤を散布する。

ダイコンシンクイ(ハイマダラノメイガ)

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 発生が予想される場合には、薬剤を散布する。

ネキリムシ類

(耕種的・物理的防除)

- 1 被害株株元の幼虫を捕殺する。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 薬剤を施用(散布)する。

センチュウ類

・ [共通防除の章の資材・苗床・本ぼの消毒の項](#)を参照する。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 薬剤を定植前に土壌混和する。

ナメクジ、カタツムリ類

(耕種的・物理的防除)

- 1 野菜くずの捨て場等の発生源を除去する。
- 2 ほ場の通風や排水を良好にし、地表部を乾燥させる。
- 3 農作物の過繁茂を避け、収穫後の畑はできるだけ早期に整理する。
- 4 畑周辺の小かん木、小竹などの茂みを伐採整理し、不必要な石積等は取り除く。
- 5 畑周辺の清掃を図った上で、潜伏場所となるような濡れむしろ等を設置し、誘引捕殺する。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#) [【ナメクジ類】](#)・[【カタツムリ類】](#)

- 1 粒剤は雨が降ると有効成分が流亡してしまうので、天候を見極めて活動直前の夕刻に処理する。ハウスや温室内では、2～3日間はかん水がかからないようにする。残効期間は短い。

ナモグリバエ

・ [共通防除の章のハモグリバエ類の防除の項](#)を参照する。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 発生が予想される場合には、薬剤を散布する。